



日野市のごみ情報誌

エコ

Vol.44

平成30年10月

発行／日野市環境共生部クリーンセンターごみゼロ推進課

利便性よりも未来環境
ごみゼロ社会をめざそう

5つのRで始まるキーワード

1 断	る	Refuse
2 減	量	Reduce
3 何度も使う		Reuse
4 返	す	Return
5 分別徹底		Recycle

〒191-0021 日野市石田 1-210-2 ☎ 042-581-0444 FAX 042-586-6606 ホームページ <http://www.city.hino.lg.jp/>

「エコー」は市HPでもご覧いただけます。公共施設にも置いてあります。

ごみのゆくえを学ぼう！

最終処分場見学会を
実施しました



8月15日・17日・20日に、日野市で処理されたごみが最終的に運ばれる場所である二ツ塚処分場（日の出町）の見学会を実施しました。

市内在住の親子105人が参加し、最終処分場では焼却灰からエコセメントをつくる工場や、市クリーンセンターで処理した後の不燃ごみを埋め立てる場所などを見学。

子供たちは改めてごみ減量の大切さを学んだようでした。

今号の主な内容

- プラスチック類ごみ（プラごみ）の分別収集方法が変わります 2～3面
- マイバッグを持参し、レジ袋を断ろう！ 4～5面
- 危ない！ごみ・資源物は敷地内にお出してください 6面
- 産業まつり エコイベント 8面

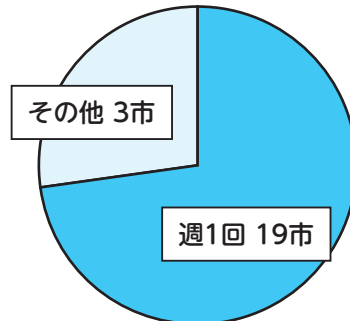
この情報誌「エコー」は、環境（Environment）と協力（Cooperation）の頭文字が皆さまのもとへ響き、それが大きな反響となって広がっていくことを願って名づけました。また、題字には、ごみがどんどん減っていき、最終的には0「ゼロ」に近づいて欲しい、という思いも込められています。皆さまのご意見、ご感想をお寄せください。

み)の分別収集方法が変わります

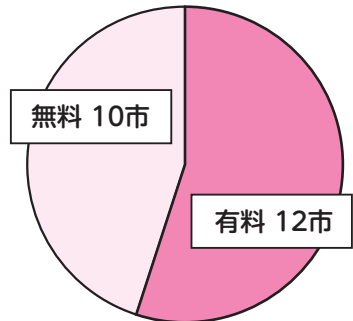
●プラごみの収集方法

プラごみが不燃ごみの大半を占めていることなどから、市では既にプラごみ収集を実施している近隣市町村の事例を参考に、収集方法・回数などの検討を進めています。

プラごみの収集回数



プラごみの有料化



[多摩地区26市の中で22市がプラごみ収集を実施]

●可燃ごみの約15%がプラスチック

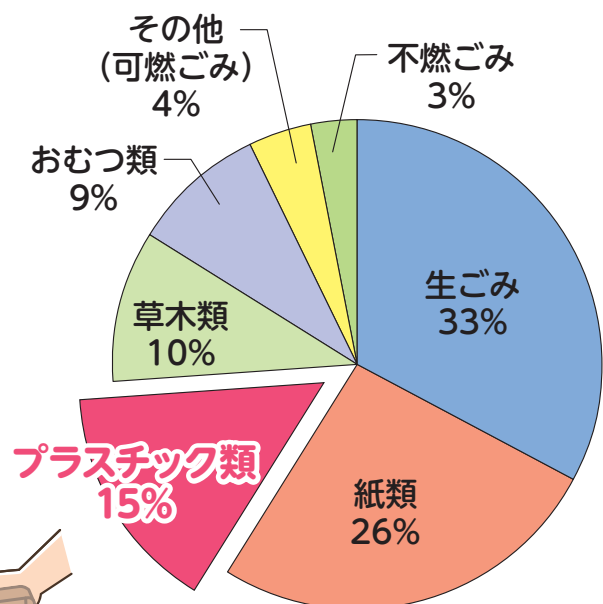
右のグラフで分かるように、可燃ごみには約15%のプラスチック類が含まれていました。年間の可燃ごみ量(約22,200ト)から算出すると約3,300トものプラスチックをごみにしています。

●平成32年1月に向け準備をお願いします

現在、可燃ごみへ分別しているプラスチックは、すすいで汚れを落とし、可燃ごみではなく不燃ごみへ分別するようお願いします。

平成32年1月にプラごみ収集が始まった際には、資源として分別できるよう今からすすぐ習慣をつけ、プラスチック類資源化に向けご理解・ご協力をお願いします。

家庭系可燃ごみに含まれるプラスチックの割合



平成27年組成分析調査結果から

汚れたプラスチックは、食器を洗った時などのすすぎ水を利用し、汚れを落としてから分別を!



クリーンセンター地元住民の皆さまのご負担を少しでも減らすためにも、市民の皆さまが分別の徹底にご協力くださいますようよろしくお願いします。

今後もプラごみの分別に関する情報をお知らせしていきますので、ご不明な点などありましたらごみゼロ推進課までご連絡ください。

平成32年
1月から

プラスチック類ごみ(プラご)

不燃ごみのうち約8割を占めるプラごみの新たな資源化により、焼却ごみ量を削減し環境負荷を低減するため、市では平成32年1月からプラごみの分別・資源化を行います。

●プラごみとは

プラごみとは、主にプラスチックでできた製品のことで、プラスチック製容器包装と、製品プラスチックの大きく2つに分かれます。市では、プラスチック製容器包装と製品プラスチックをプラごみとして一緒に収集する計画です。

プラごみの具体例
二つに分かれます

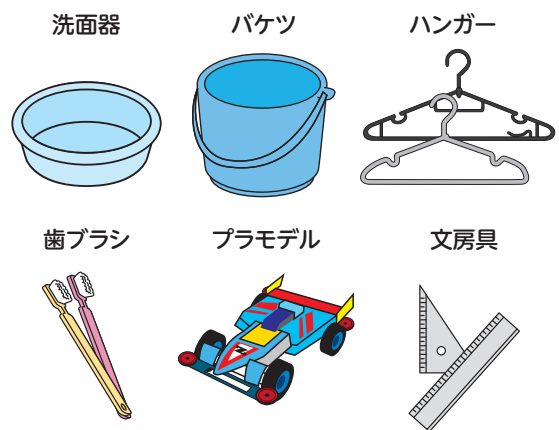
①プラスチック製容器包装

「容器」「包装」とは、商品を入れたり包んだりしているもので、中身を出したり使ったりすると不要になるものです。



②製品プラスチック

製品プラスチックは、マークのない、硬いプラスチック素材だけでできている製品です。

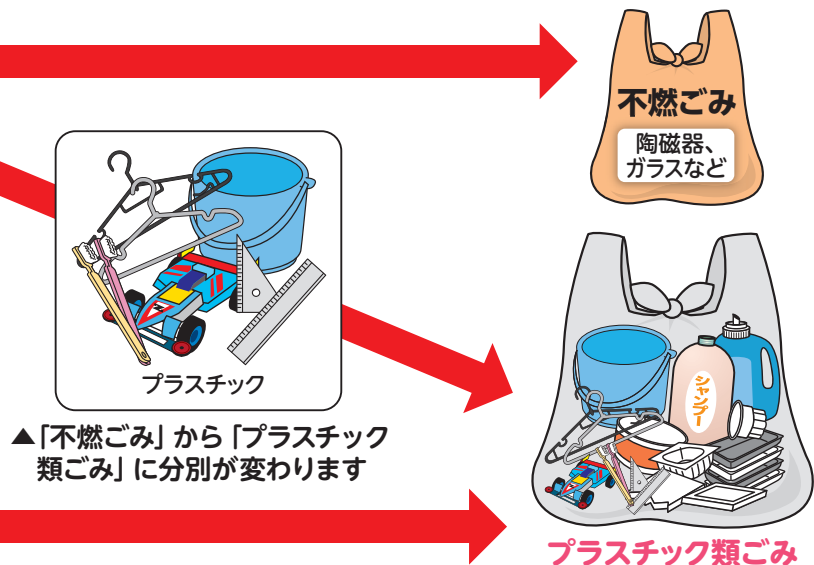


現在、不燃ごみで回収しているプラスチック製容器包装と、製品プラスチックに加え、発泡スチロール、発泡トレーがプラごみとなります。

現在



平成32年1月から



※平成32年1月から、「プラスチック」と「発泡スチロール、トレー類」は一緒の袋に出してください

を断ろう!

市民のページ

ごみ減量推進市民会議が企画・編集したコーナーです。

目指せ「みゼロ」

知恵袋

ごみ減量推進市民会議とは、「日野市ごみゼロプラン」を実行に移していく会議で、市民約20人で構成されています。



Part36

プラスチックが海に入ると

ポイ捨てされたり、ごみ出しの時に風で飛ばされたりして、街中に散乱したレジ袋などのプラスチックは、雨で流されて川に入り、最後には海に入ります。

プラスチックは、河原、海岸、海面で紫外線や熱、波などによって劣化して破片になります。特に5ミリ以下の細かな破片になったものを「マイクロプラスチック」と呼んでいます。

プラスチックの大小の破片を海の生き物が餌と間違えて食べてしまい、本物の餌を食べられなくなって衰弱死してしまっています。

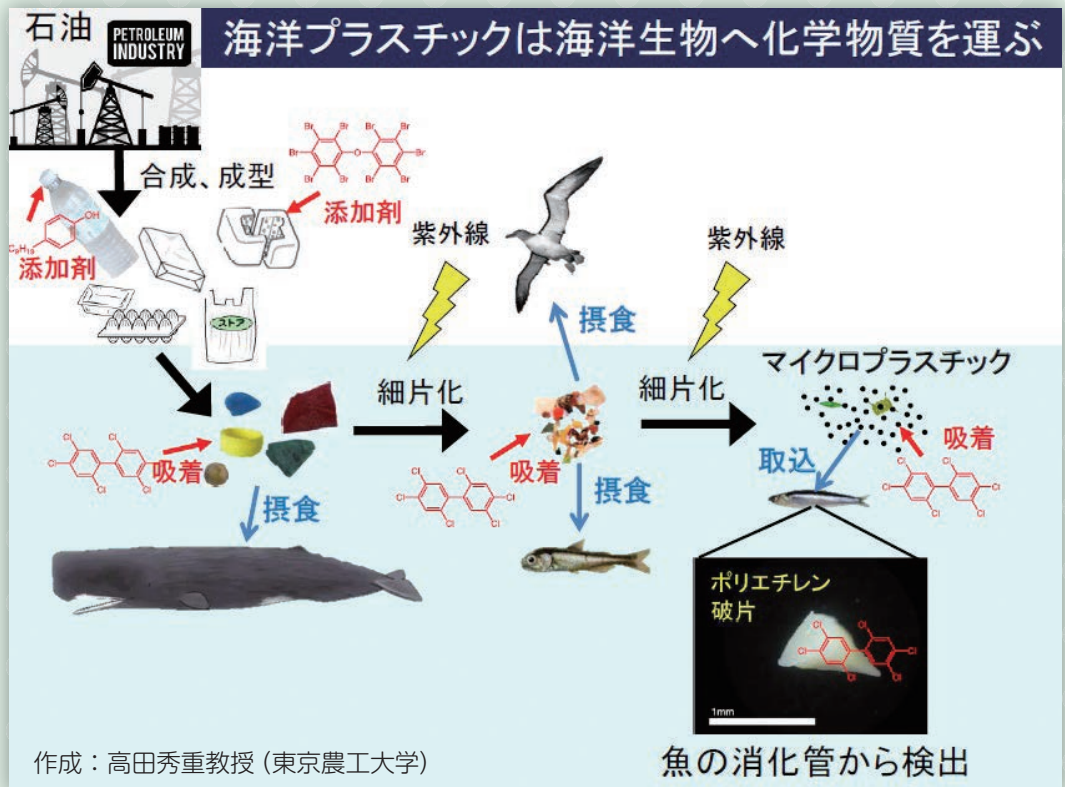
また、マイクロプラスチックからは、2種類の有害化学物質が検出されています。一つは、もともと製品に入っている

酸化防止剤などの添加剤であり、もう一つは、海水中から吸着するPCB（ポリ塩化ビフェニル）などの有害化学物質です。マイクロプラスチックを生物が食べることによって、有害化学物質が体内の組織に移行して蓄積され、さまざまな障害が出ています。

マイクロプラスチックを食べた魚介や、その魚介を食べた魚を人間が食べており、人体への影響が懸念されています。



▲海岸に漂着したごみ（出典：山口県ホームページ）



今月（10月）はマイバッグ持参強化月間です
お買い物の際は、マイバッグを持参し、使い捨てのシンボリック存在のレジ袋を断りましょう!

マイバッグを持参し、レジ袋

使い捨てされているレジ袋

毎年5月と10月に市と市民が協力して、市内全スーパーの出口で実施しているマイバッグ持参率調査によると、約45%の方がレジ袋を受け取っています。

レジ袋は、買った物を家に持ち帰るまでのほんの少しの間に使うだけで、その後は大半がごみとして捨てられています。レジ袋の使い捨ては、もった

いないだけでなく、以下のようなさまざまな弊害をもたらしています。

マイバッグの持参は、始めのうちは面倒に感じるかもしれませんが、習慣になれば決して面倒なことではありません。

マイバッグを持参し、レジ袋をもらわないようにしましょう！



レジ袋の弊害

レジ袋は、同じように使い捨てされている他のプラスチック製品とともに、次のような弊害をもたらしています。



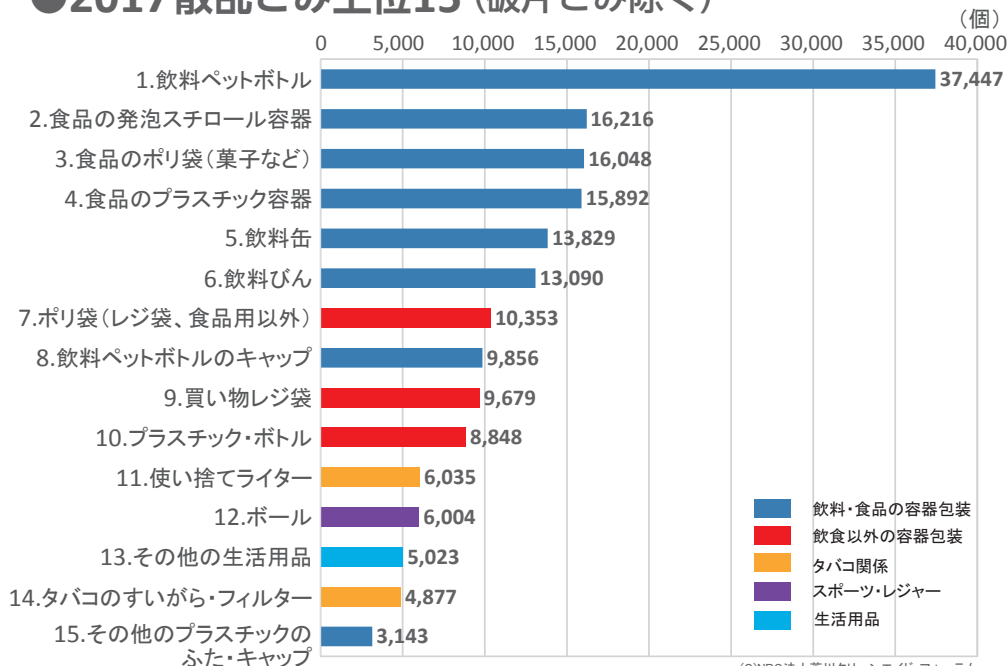
- ①ごみ量を増やしています
- ②原料としている石油資源を浪費しています
- ③製造時やごみとして焼却した時に、CO₂を発生し、地球温暖化の原因となっています
- ④街中に散乱したレジ袋が川に流れて海に入り、海の生き物の生存を脅かしています

散乱ごみの内訳 ～荒川の場合

右のグラフは、2017年に、NPO法人荒川クリーンエイド・フォーラムが荒川の117カ所の河原で拾ったごみの内訳です。ペットボトルが断然1位で、レジ袋も9位に入っています。

上位15のうち、プラスチック類が9品目を占めています。

●2017散乱ごみ上位15 (破片ごみ除く)



危ない!

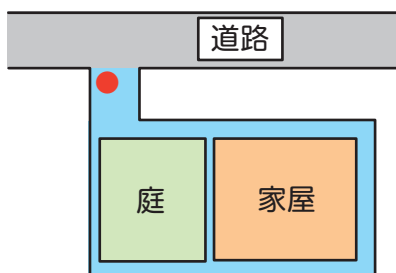
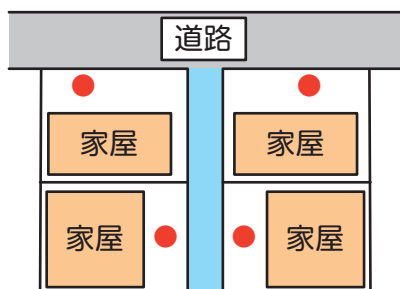
ごみ・資源物は敷地内にお出してください

ごみ・資源物を道路上や側溝の上などの敷地外に排出していると、歩行者がつまづいたり、道路側に飛び出して車の通行を邪魔したりして大変危険です。また、急な豪雨でごみが側溝に落ちると詰まりの原因などにもなります。

ごみ・資源物は、道路や歩道上ではなく、必ず敷地内にお出してください。事故の原因と判断された場合は、排出者の責任を問われることがあります。市民生活の安全・安心のため、皆さまのご理解とご協力をお願いします。



ごみ・資源物の排出場所の例



ごみを出す時のお願い

道路に面した敷地内にお出してください。なお、収集員がなるべく敷地内に立ち入らないで収集できる場所をお願いします。

都市鉱山からつくる ご協力ありがとうございました! みんなのメダルプロジェクト

目標達成!!

2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックの入賞メダルを家庭で不要となった携帯電話やパソコンから製作する「都市鉱山からつくるみんなのメダルプロジェクト」。

市では、平成29年6月から、金メダル一つ分の貴金属を回収することを目標に、市民の皆さまからの提供を受けてきましたが、8月末日までに目標数値を達成することができました。ご協力ありがとうございました。

メダルプロジェクトは、引き続き取り組みを行っています。今後ともご協力をお願いします。

パソコン 662台	携帯電話 3816台	その他 934台
--------------	---------------	-------------

(平成30年9月30日現在)



■市内回収施設一覧

施設名	回収日時	回収品目
市役所1階 市民相談窓口	月曜～土曜日8:30～17:15 ※年末年始、祝日を除く	回収BOXの投入口(縦5㌢×横30㌢)に投入できる小型家電 例 携帯端末、デジタルカメラ、ノート型パソコン、携帯ゲーム機など※投入口に入らないものはクリーンセンターで受け付け
七生支所		
豊田駅連絡所		
グリーンセンター	月曜～金曜日8:30～17:15 ※年末年始を除く	



■日野市・国分寺市・小金井市 3市ごみ減量推進市民会議を開催しました

可燃ごみの共同処理を行う日野市・国分寺市・小金井市の市民による3市ごみ減量推進市民会議が発足し、7月24日に第1回会議を開催しました。

この会議では、共同処理を巡る日野市の置かれている状況や3市の覚書の内容など、広く市民に周知すべき内容や周知方法の検討、さらなるごみ減量の推進に向けた施策の検討を行います。

■クリーンセンター連絡協議会を開催しました

市クリーンセンターおよび浅川清流環境組合からの情報提供やクリーンセンター周辺自治会の意見交換の場として、クリーンセンター連絡協議会を9月29日に開催しました。

協議会では、クリーンセンタープラスチック類資源化施設建設工事に関する情報や新可燃ごみ処理施設建設工事に関する情報をお知らせしました。

いずれの会議の内容についても、要点録を作成し、今後、市HPで公開していきます。



スーパーいなげやから、 ペットボトル募金の収益金が 小学校に還元されました



スーパーいなげやでは、市民の皆さまが持ち込んだペットボトルの収益金を還元するため、小学校2校（一小、三小）に環境学習教材を贈呈しました。

なお、スーパーいなげやでは、市と日野市ごみ減量推進市民会議の要請に応じて、市内3店舗でレジ袋の無料配布を中止しています。

引き続き、お買い物にはマイバッグを持参し、環境にやさしいお店を応援していきましょう。



▲スーパーいなげや日野駅前店・川島店長（左）から一小・石田校長へ目録を贈呈

リサイクル事務所



タンス、ソファ、PCラック、ベビーカー、学習机など
掘り出し物を見つけにきませんか？



まだ使える家具、家電製品などの再生・販売を行っています。詳細はお問い合わせください。

所在地 万願寺6-5-6

受付時間 9:30～16:30※年末年始を除く

問 リサイクル事務所(☎581-5960)



リサイクルフェア開催

お求めやすい価格で提供しています。
ぜひご来場ください。

日時 10月28日(日)9:30～16:30



産業まつり エコイベント

ご家庭で不要な食品を
ご提供ください!

フードドライブin産業まつり

「もったいない」を「ありがとう」へ

日本国内でまだ食べられるのに廃棄される食品が年間 634 万ト。これは国民一人が毎日茶碗 1 杯のご飯を食べずに廃棄している量に相当します。

このような食品ロスを削減するため、フードバンクTAMAを通じてまだ食べられる食品を市内の子ども食堂や児童養護施設などへ提供するフードドライブ事業を実施します。

ご家庭で食べない食品がありましたらぜひ、ご提供ください。



受付日時

11月10日(土)10:00~14:30、11日(日)9:30~14:30

受付場所

市民の森ふれあいホール内 ごみゼロ推進課ブース

提供をお願いしたい食品

消費(賞味)期限が平成31年1月以降の以下の食品(箱が開いていても袋に入っていれば可)

- ・お米(白米、玄米、アルファ米)、パスタ、そうめんなどの乾麺、菓子類
- ・缶詰、レトルト食品、インスタント食品、のり、お茶漬け、ふりかけ
- ・調味料(しょうゆ、食用油、味噌など)

▶以下の食品はお引き取りできません

- ・消費(賞味)期限が明記されていない食品
- ・消費(賞味)期限が平成30年12月までの食品
- ・開封されているもの
- ・冷凍食品、生鮮食品(生肉、魚介類、生野菜)、アルコール(みりん、料理酒を除く)

減らせ
海ごみ!

オンリーワンマイバッグでレジ袋を辞退しよう

オリジナルのマイバッグを作り、買い物に持参しましょう!

日時

11月10日(土)10:00からと14:00から、11日(日)9:30からと
14:00から※各回先着50人

会場

市民の森ふれあいホール内 ごみゼロ推進課ブース



プラスチック類資源化施設建設工事の 進捗状況

市では、新可燃ごみ処理施設稼働(平成32年度予定)に合わせて、さらなるごみの減量と資源化の推進を図るため、プラスチック類資源化施設を建設中です。完成後は、プラスチック類の手選別作業なども見学できる施設となります。

7月に工事説明会を行い、9月にプラスチック類資源化施設の本体工事に着手し、現在まで順調に作業が進んでいます。安全配慮や環境対策などを徹底していきますので、ご理解とご協力をお願いします。

新可燃ごみ処理施設 建設工事の進捗状況

平成29年11月から、新可燃ごみ処理施設の建設工事が始まりました。工事の状況などは浅川清流環境組合ニュース(10月15日発行)および組合HP(<http://cms.upcs.jp/asakawa/>)で紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

問 浅川清流環境組合(☎589-0555)